

医療用品 04 整形用品
一般医療機器 皮膚バリア粘着プレート 31071000
プリマ傷あとジェルシート

【禁忌・禁止】

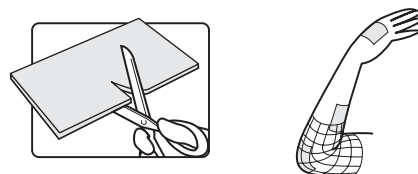
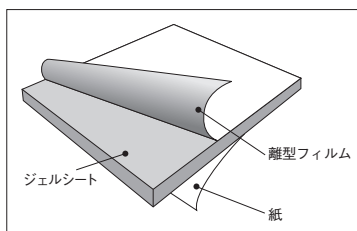
次の部位には使用しないで下さい。

- ・ 治療中の傷口 (炎症を起こしている傷口又は開いている傷口) [感染の恐れがある]

***【形状・構造及び原理等】**

1. 形状・構造
高純度シリコン
ジェルシート
12×6 cm

2. 原理
外部の汚染物質から皮膚部位を保護するために皮膚に粘着する器具。
皮膚に当てることにより、皮膚の保護をする。



***【使用目的又は効果】**

傷あと・火傷あと・ニキビあと等の赤みや盛り上がりが残ってしまった気になる部位、及び酸素マスク等の医療機器による圧迫から皮膚部位を保護するための皮膚保護材です。
(「傷あと」とは、かさぶたが取れてから1ヶ月を経過した部位を対象とする。)

***【使用方法等】**

1. 保管用ケースから取り出し、傷あと・火傷あと等の大きさに合わせてシートを切り抜きます。傷あと・火傷あと等より大きめに余裕をもって切り抜いて下さい。
2. 傷あと・火傷あと等の部位を良く洗い乾かします。
3. 青色の文字の書いてある白地のフィルム (離型フィルム) を剥がして、その面を傷あと・火傷あと等の部位に貼り付けます。この時、反対面の白無地の紙と一緒に剥がして下さい。白無地の紙を剥がす時はシートの薄い膜と一緒に剥がさないように丁寧に剥がして下さい。
4. ひじ、ひざ等の関節や、かかと等の良く動くところに貼る場合は、伸縮包帯やネット等で軽く押さえると固定しやすくなります。
5. 1日8時間以上、可能であれば24時間使用することをお勧めします。
6. 使用後は1日1回、水又はぬるま湯で洗って下さい。汚れがひどい場合は中性洗剤を使用して洗い、よくすすいで下さい。
7. 洗浄後はシートを軽く振って水気をきり、清潔な所で粘着面を上にして自然乾燥させて下さい。
8. 1枚のシートで大きさが足りない場合は、複数枚を隙間なく並べて貼って下さい。

<使用方法に関する注意>

1. 皮膚の弱い方は、いきなり長時間使用すると赤みや痒みが出る場合がありますので、1～2時間から使用を開始し、毎日徐々に使用時間を増やし、慣らしながら使用して下さい。
2. 汗をかきやすい人や汗をかきやすい季節にはシートを洗う回数を増やし、シートを貼り付けていた

皮膚も良く洗い、清潔を保って下さい。

3. テープで固定しますとシートの薄い膜が剥がれて壊れやすくなるのでご注意下さい。
4. 1ヶ月以上継続してご使用下さい。
5. 酸素マスク等の医療機器使用時に貼る場合は、鼻や口に入らないように大きめに切って使用して下さい。

***【使用上の注意】**

1. 重要な基本的注意
 - 1) 使用中、皮膚に発疹、発赤、かゆみ等の症状が現れた場合には、使用を中止し、医師又は薬剤師に相談して下さい。
 - 2) 傷口が治ってもかさぶたが取れてから1ヶ月以上を経過した後にお使い下さい。
2. その他の注意
 - 1) 洗っても汚れが落ちなくなったり、皮膚への接着が悪くなったら、新しいシートに交換して下さい。
 - 2) シートを使用部位から剥がす時は、なるべく両手を使用して出来るだけ伸ばさないようにゆっくりと丁寧に剥がして下さい。伸ばし過ぎると破損しやすくなります。
 - 3) 乾かす時にドライヤーやレンジなどを使用しないで下さい。また、紙や布などで拭くと紙や糸くずが付着し、取れなくなりますのでご注意下さい。
 - 4) 入浴時等、水に濡れる場合は取り外して下さい。
 - 5) 軟膏やクリーム等との併用は避けて下さい。
 - 6) 小さく切り抜いたシートを流し等に流しますと配管等の詰まりの原因になりますのでご注意下さい。
 - 7) 酸素マスク等医療機器による圧迫から皮膚を保護するために、適切な大きさに切り抜いて使用する場合は、特に口の周り等に貼付する時は、汗、よだれなどで剥がれやすく、剥がれたシートを誤飲すると窒息の危険があります。充分にご注意してご使用下さい。

***【保管方法及び有効期間等】**

保管方法

1. 使用しない時は、付属の保管用ケースに入れて高温多湿を避けて室温保管して下さい。
2. 可燃物ですので、火のそばや高温になる所には放置しないで下さい。
3. シートを食べたり、耳、口や鼻に詰めたりしますと危険ですので、幼児や高齢者の手の届かない所に保管して下さい。

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者 原沢製薬工業株式会社
住所 東京都港区高輪二丁目14番17号
TEL 03-3441-5191